

## 「夢・志」で前進する八百津町の子どもたち

八百津町教育委員会 前教育委員長  
瀨瀬堅爾

平成23年10月1日より、4年間にわたる教育委員の任期を終えることができ、この4年間町民のみなさま方にはお世話になりまして大変ありがとうございました。

私ごとですが、「自分の家を造りたい。」と、大工の仕事に志を持ったのは16歳の時でした。それから60年以上の月日が流れました。建築士や施工管理技士など、取得した資格は20を超え、400軒以上の家を建ててきました。

今思えば、いつも夢や希望が、自分の背中を押してくれたように思います。また、祖先や家族、地域の方々への感謝の気持ちも忘れられません。

八百津町には豊かな自然があり、古くからのよき伝統や、文化が引き継がれています。また、地域の方々は、笑顔で挨拶を交わし、温かい人と人との絆があります。それらが、子どもたちの夢や志を育む土台になっていると強く感じています。

私が教育委員を務める中で、いつも思っていたことは、私たち大人は、“子ども達に夢や志(目標)を持たせ、前向きに努力できるよう援助していかなければならない”ということです。

八百津町には、現在783名の児童生徒がいます。この4年間、八百津町の7つの小中学校、また、八百津高校を何度も訪問しました。どの学校も特色ある教育活動が展開されています。

学校訪問を通して、私が特に注目したのは次の点です。

- ①どの先生も、一人ひとりの子どもを大切に、個に応じた指導を心がけていること。
- ②地域の自然や人材を活かした教育活動を行っていること。

③いじめ防止など人権教育に対して積極的に取り組んでいることなどでした。

八百津町出身の元外交官杉原千畝氏の人権尊重の精神が大切にされ、指導が推進されていました。8月に行われた児童・生徒会のいじめ防止サミットでは、小・中・高等学校のリーダーから、いじめ防止に立ち向かう正義の風を感じることができました。

また、八百津町には、常に少人数で学習している子どもがいます。私は少人数だと子どもたちがなれ合いになったり、社会性の乏しい人になってしまわないかという疑問を抱いていました。しかし、それは間違いでした。少人数だからこそ、先生が目も行き届き、子どもたちは明るい表情で伸び伸びと授業を受けている姿が印象的でした。

私が60年以上、志を持って歩んでこられたのは、祖先がいたからであり、地域の方々や家族の支援があったからです。今後も、八百津町の子どもたちが、夢や志が持てるような活動をサポートしていきたいと思います。その中で郷土八百津町に貢献できる子どもを育てていきたいと思います。4年間お世話になりました。



小学校1年生が保育園児に読み聞かせ